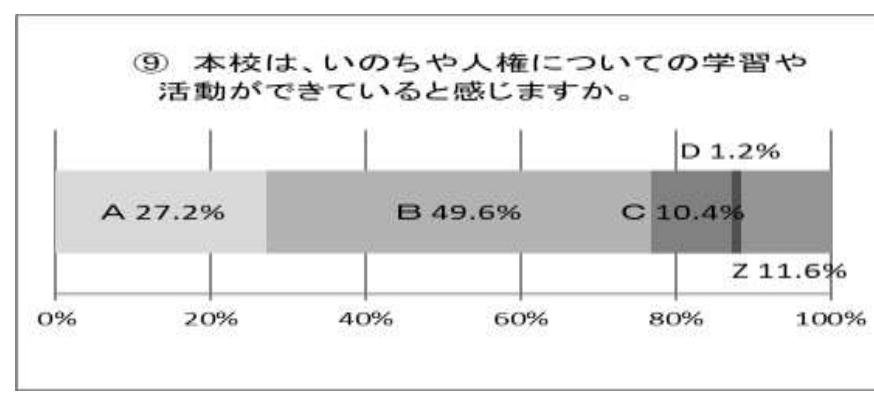
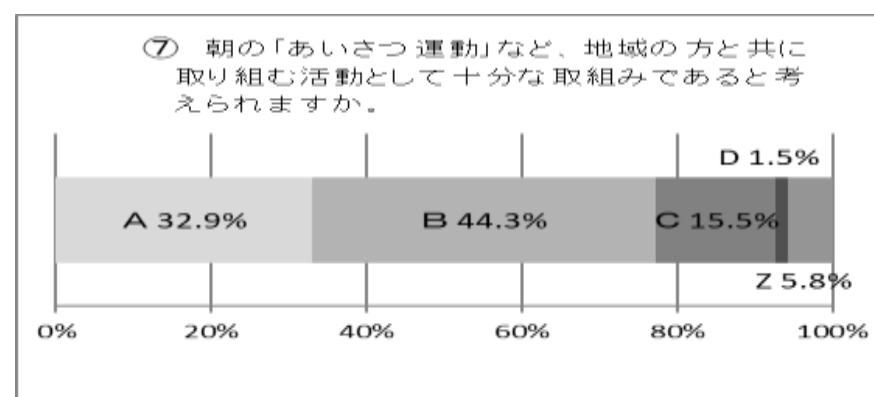
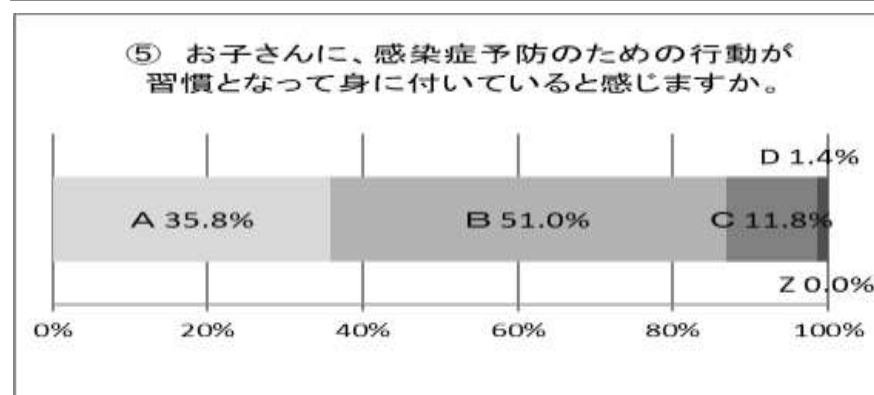
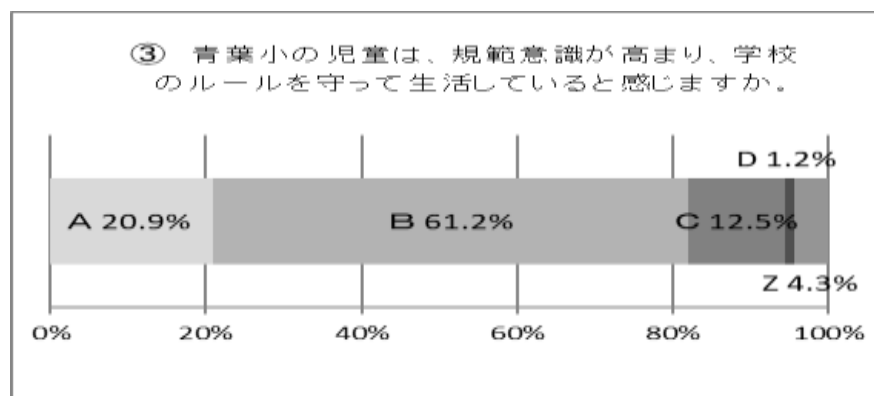
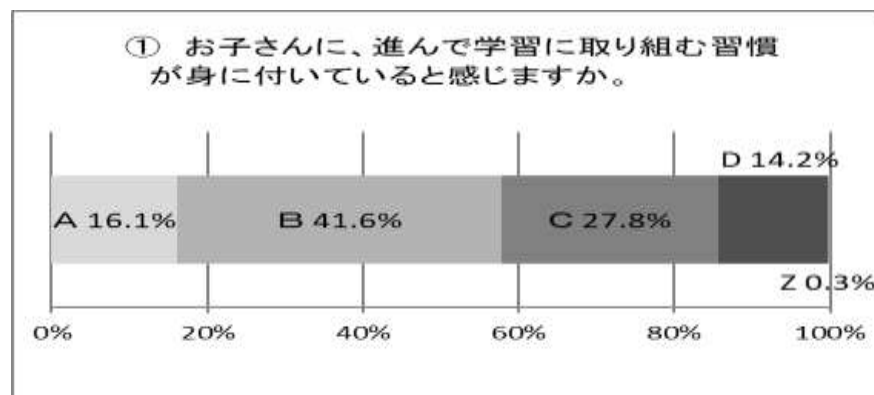
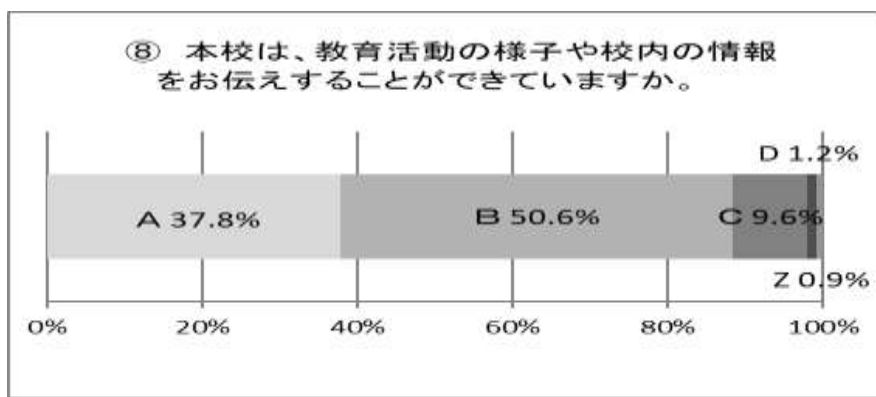
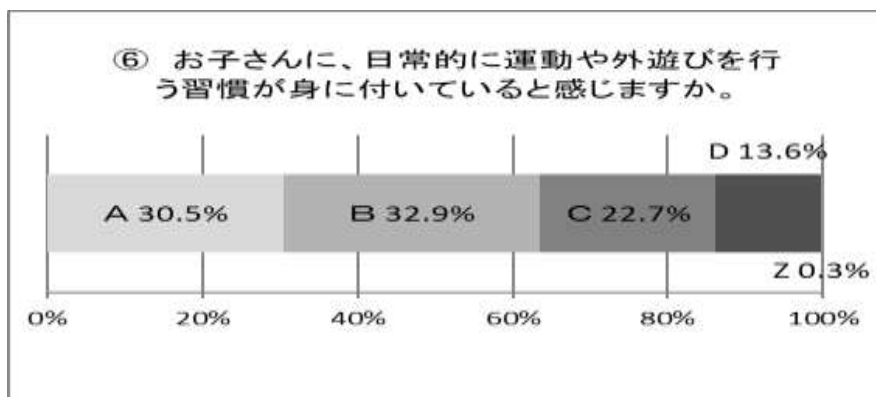
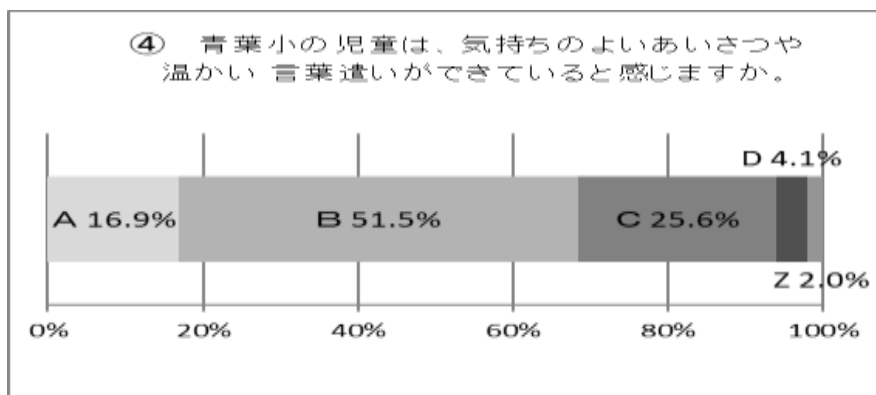
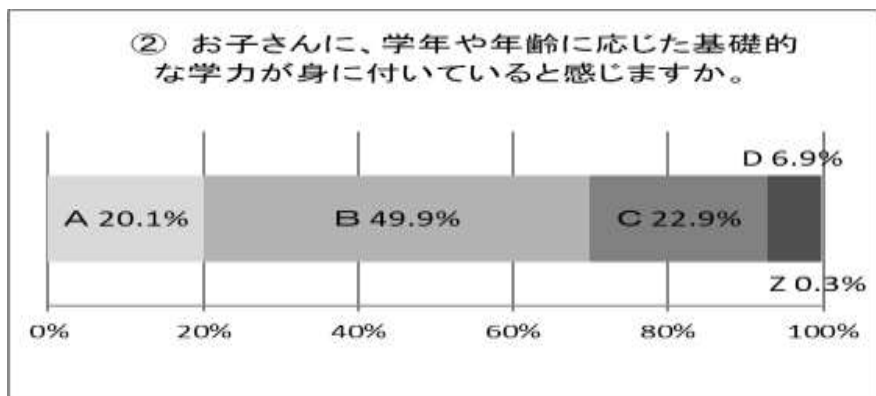


東村山市立青葉小学校
学校だより<特別号>
令和3年2月26日

令和2年度 学校生活アンケート(保護者対象) 集計結果

A:十分満足できる。そう思う。 B:おおむね満足できる。一部そう思う。
C:一部不十分。一部そう思わない。 D:不十分。そう思わない。
Z:分からない。



令和2年度 学校アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。345 枚(回収率 86%)のご回答をいただきました。(昨年度 78%)

1 肯定的な評価(A評価とB評価を合わせたもの)の割合が70%以上と高かった項目

- ②基礎的な学力の定着 ③学校のルールを守って生活している
- ⑤感染症予防のための行動 ⑦地域の方と共に取り組む活動
- ⑧教育活動の様子や校内の情報 ⑨命や人権についての活動

これらの中でも特に「⑧教育活動の様子や校内の情報」の評価の割合(88.4%)が高く、昨年度 78.7%から約 10 ポイント増加しています。アンケート記述には、「マチコミをたくさん活用してくださっているので校内の様子がよくわかります。今年度は学校での参観がなかったのでありがたかったです。」という意見がありました。

来年度も、適切な教育活動及び情報提供を行っていきます。

2 否定的な評価(C評価とD評価を合わせたもの)の割合が25%を超える項目

- ①進んで学習に取り組む習慣 ④あいさつや言葉遣い
- ⑥運動や外遊びを行う習慣

①進んで学習に取り組む習慣について

児童には進んで学ぶことができたかについての質問で、肯定的な回答が約 91%となっています。家庭での学習が習慣となるように、学年に応じて、宿題チェックカードの活用や学んだことの新聞作成、自主学習ノートをつくるなどの活動を継続しています。今後も、児童の意識や興味・関心を高め、進んで学習に取り組む習慣を身に付けていきます。

④あいさつや言葉遣いについて

登下校時のあいさつについて、アンケートの記述には、「気持ちのよいあいさつをしてくれる」と「あいさつが返ってこない」の両方の意見がある。学校では、代表委員会を中心として、あいさつ運動を始めました。今後は、あいさつの輪を校内から地域へと広げていく取組を考えていきます。また、あいさつの励行の観点からも、児童への指導と共に、まず大人があいさつする姿を示します。

⑥運動や外遊びを行う習慣

新型コロナウイルス感染症対策のため、クラス遊びや外での遊びの機会が減ってしまいました。また、暑い時期は熱中症指数が高くなったこともあり、外遊びを推奨する時間が多くありませんでした。このような中でも、運動の楽しさにふれさせる指導を工夫し、今までできなかった運動にチャレンジする子が増えてきました。体育の学習で学んだことが休み時間の遊びに発展したということもありました。今後の状況を考慮しながら、児童の健康と体力の保持・増進と児童同士の交流を活性化するための取組を考えていきます。

3 自由意見について

コロナ禍における行事の設定や担任への感謝、制限がありながらも楽しく学校生活を送っている子どもたちの様子が読み取れ、概ねよい評価が得られていました。ご意見の中には、すぐに改善できる事柄や状況を考慮しながら検討していかなければならない事柄もありました。また、学校施設に関することや学級数、一学級あたりの人数など、学校だけでは解決が難しいものがありました。今後、市教委と連携しながら対応する必要があります。市教委へも伝えていきます。全教職員でご意見を共有し、来年度の教育活動に生かしていきます。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

アンケートの集計結果とご記入いただいた自由意見については、2月5日に開催した、「青葉小学校運営協議会」で報告させていただきました。そこでのご意見を基に、令和2年度学校関係者評価を作成し、教育委員会に提出しました。学校関係者評価につきましては、青葉小学校ホームページに掲載しております。

今年度も青葉小学校の様々な活動にご協力いただきありがとうございました。来年度も引き続き、よろしくお願いたします。